

自分らしさが出ている時って。。。



さくらフェスみの〜れ実行委員

ふじおか りょうた

藤岡 亮太 さん

「さくらフェスティバルは学園祭みたいで楽しいです!! 実行委員の人たちとも関わっていただけたら」と話す藤岡さん。

みの〜れと共に生活するスタイル

Minole Life
のすすめ

No.129

暖かな日差しが春を運んできました。ふきのとうが顔をのぞかせ、チューリップや水仙の葉っぱが伸びてきました。春は木々や土の中から新しい命が芽吹いて、眺めているだけで元気が出ます。桜の枝も赤みを帯びて・・・もうすぐ開花の便りが届きますね。今回は、4月7日(土)に開催される小美玉さくらフェスティバル2018の実行委員で小美玉市山野地区にお住まいの藤岡亮太さん取材します。

ボランティアを
やっているときが
一番楽しい♪

藤岡さんにみの〜れとの出会いを聞いてみると、「小川地区に住んでいて、美野里地区にあるみの〜れの存在を知りませんでした。7年前にカイロプラクティックの資格を取り、自分の仕事を開拓するためにもボランティアで人脈を広げようと、同級生の勧めもあって関わるようになりました。さくらフェスに関わるのは今回で3回目です。最初関わった時は知らない人がたくさんいるなって思いました。ですが、全く人見知りしないのと、地元の人も多く、文化祭みたいで楽しいなと感じていました。『何かを創りながらボランティアをやっている時が一番、かしまらずに藤岡らしさが出ている』って友達に言われたこともあり『健康に携わりたくてカイロプラクティックの仕事に就いた藤岡さん』と話してくれました。

岡さんは、「資格を取ったばかりの頃は開業する場所も無くて、自分たちでチラシを作った自転車で配りました。その時、友達と作ったチラシは今も大切に取ってあります。最近、カイロプラクティックだけではなく、栄養学も必要だなって思って分子栄養学の資格も取りました。プラクティックだけで仕事をしたいけばいいかなって思っていました。栄養学を学んでからは体の中から体質改善をして、患者さんが年を取ってからも家で孫と遊びながら楽しく暮らしていけたらいいなと思っています。2年前に石岡にお店を構え、今年の1月にリニューアルしました。」

趣味を聞いてみると、「プレイクダンスが趣味で、ダンス歴は10年くらいになります。小さいバトルとかショーにたまに出ますね。身体を動かしたい。ダンスはコミュニケーションの広が

りがすごいと思う。学生とも友達になれるし、大学のキャンパスなどにも通って仲間づくりをして一緒に踊ったりして学ぶことが多いです」と藤岡さん。

藤岡さんにとってみの〜れは、「ボランティアをやってわかったことは、いい人しか集まらないし、人と人との繋がりがあって素敵だなって思えます。また、動きが出るところもいいですね。講演会を聴きに行く方より、自分で山登りに行く方が楽しいでしょう。そんな感じです」と爽やかに話してくれました。

さくらフェスにむけて、「今回は風のホール担当です。さくらフェスに来て楽しんでもらうのもあるけれど、実行委員の人たちとも関わって楽しんでもらいたいと思います」と藤岡さん。

4月7日(土)はみの〜れにぜひ遊びに来てください。桜色に染まった景色と笑顔が皆さんをお待ちしています。